

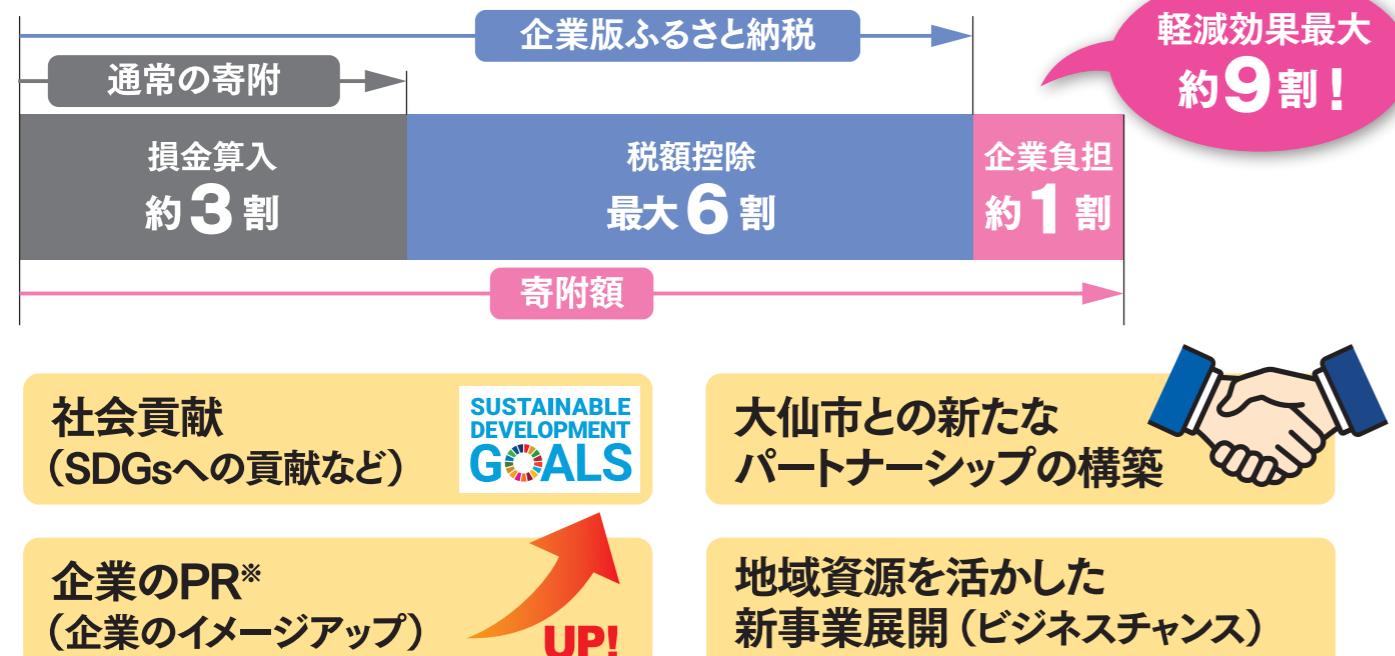
## 企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)とは

地方公共団体が行う地方創生プロジェクトに対して企業の皆様が寄附を行った場合、法人関係税から税額控除する仕組みです。

- 大仙市外に本社がある企業が対象です。 ●1回あたり10万円以上の寄附が対象です。
- 寄付をすることの見返りとして、経済的な利益を受けることは禁止されています。

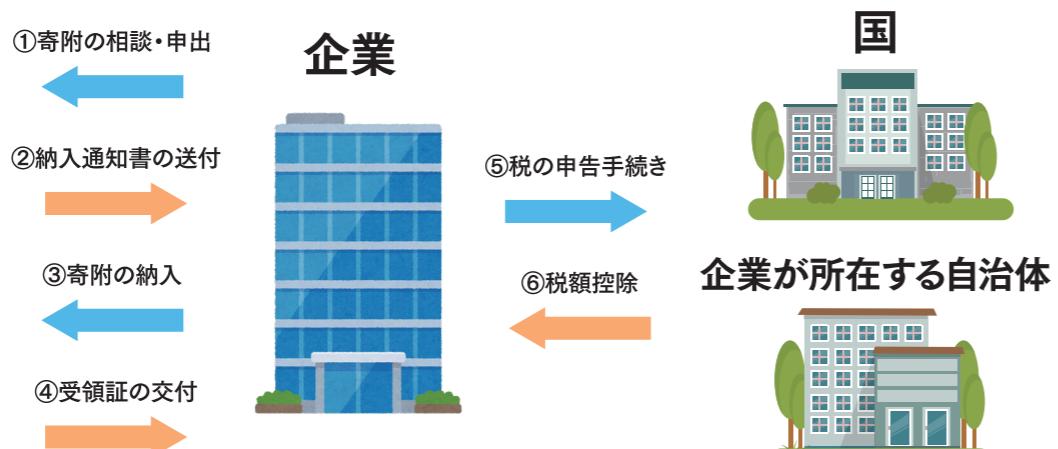
## 寄附のメリット

税負担の軽減 最大で寄附額の約9割が軽減! 企業負担は実質約1割!



\*広報やホームページ、SNSなどの紹介のほか、企業の皆さまのご希望に応じて、贈呈式を開催させていただきます。

## 寄附の流れ



お問い合わせ先

大仙市企画部総合政策課 ☎ 0187-63-1111(代表)



詳しくは、  
大仙市のホームページで  
ご確認ください。



# 企業版ふるさと納税

企業の皆様からの  
ご支援をお願いします



## 「人が生き 人が集う 夢のある田園交流都市」の実現に向けて

秋田県内陸南部に位置する「大仙市」は、四季折々に美しい表情を見せる豊かな自然にあふれ、全国有数の穀倉地帯を抱えるとともに、日本三大花火の一つに数えられる全国花火競技大会「大曲の花火」をはじめ、連綿と受け継がれてきた多彩な伝統や文化が薫る田園交流都市です。

平成17年の合併以来、将来都市像である「人が生き 人が集う 夢のある田園交流都市」の実現を目指してまちづくりに取り組んでまいりましたが、全国よりも速いスピードで人口減少や少子高齢化が進行しており、産業の振興やその担い手の確保、人生100年時代を支える社会の形成など、未だ多くの課題を抱えています。

こうした課題を解消し、地域を持続的に発展させていくため、特に若者の活躍・定住の促進や、出会いから結婚、出産、子育てまで切れ目のない支援の充実、世界的な潮流であるDX・GXの推進など、「未来への投資」に重点を置いて取組を進めてきたところであり、令和4年の「SDGs未来都市」への選定も追い風に、企業の皆様をはじめとした多様なステークホルダーとの連携を深めながら、SDGsを原動力に取組を加速させているところであります。

企業版ふるさと納税は、厳しい財政状況にある本市にとって、実効性の高い取組や、これまでにない新たな取組にチャレンジするための非常に重要な財源となるばかりでなく、将来的な連携の可能性を見据えた、企業の皆様との関係づくりの一環でもあると考えております。皆様のご支援が豊かな自然や田園風景、ふるさとや将来を担う子どもたちを守り、育み、そして次代を切り拓き、希望にあふれる地域の未来を創造する大きな力となります。

目まぐるしく変化する社会経済情勢の中、先行きを見通しづらい難しい状況にありますが、様々な課題を抱える「課題先進地」の挑戦を是非とも応援していただきますよう、心からお願い申し上げます。

秋田県大仙市長 **光松博行**

# 大仙市が取り組んでいる地方創生 プロジェクト(寄附募集事業)

## 若者チャレンジ応援プロジェクト

### 若者の夢や希望の実現に向けて

様々な分野で挑戦する若者を応援する「土壤づくり」と挑戦する若者の創出・育成に向けた「人材づくり」を進め、チャレンジする若者が次々と生まれる「チャレンジの好循環」を創出しながら、地域の元気創出や若者の市内定着、当市の持続的な成長につなげていきます。



#### チャレンジのサポート窓口「だいせんLabo」

大仙市をフィールドに、夢や希望に向かってチャレンジする若者や、地域の課題解決・活性化のために行動を起こそうとする若者の相談に対応するとともに、商工団体や金融機関、大学、企業などの皆様と連携しながら、その実現に向けたサポートを行います。



## 健幸まちづくりプロジェクト

### “日本一健幸なまち”を目指して

タニタグループ3社と連携し、全市民及び市内への通勤者約8万人を対象とした、全国初の官民連携による大規模ヘルスケア事業に取り組んでいます。

同グループの活動量計を活用し、様々なイベントや健幸ポイントなどのインセンティブを講じつつ、無理なく楽しみながら健康づくりに取り組める環境を創出することで、健康寿命の延伸や医療費等の抑制、地域経済の活性化などにつなげていきます。

健康状態を「見える化」し、  
「歩くこと」を中心とした健康づくりをサポート!



## カーボンニュートラル推進パッケージ

### 令和4年3月「大仙市ゼロカーボンシティ宣言」を表明

2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指します!

二酸化炭素の排出抑制と  
再生可能エネルギーの導入を進めます!

#### ゼロカーボンシティ推進事業

EV車・PHEV車の購入や太陽光発電設備・蓄電池の設置に係る費用への支援など、ゼロカーボンシティの実現に向けた取組を推進します。



廃棄物の減量化と再資源化に取り組みます!

#### プラスチック資源循環事業

プラスチック製品の廃棄物回収に向けた体制を整備し、資源リサイクルの推進と廃棄物処理に係る二酸化炭素の排出を抑制します。

二酸化炭素の吸収源となる森林の整備を進めます!

#### 公有林整備事業

Jクレジット制度を活用しながら、きめ細やかな森林整備を推進し、森林の有する多面的機能の増進を図るとともに、地球温暖化対策を推進します。



## こども・子育て応援パッケージ

### 令和5年8月「こどもまんなか応援センター」に就任

あらゆる施策にこども目線を取り入れ、取組を進めていきます!

保育料を完全無償化します!

#### すこやか子育て支援事業

全年齢層の保育料を無償化し、子育てに係る経済的負担を軽減します。

子育てしやすい環境づくりを進めます!

#### 屋内遊び場施設整備事業

子どもたちが雨天時や冬期間でも安全にのびのびと遊べる屋内遊び場施設の整備を進め、子どもの適切な発育を促すとともに、子育て環境の充実を図ります。

学校や社会への復帰をサポートします!

#### 子ども・若者育成支援事業

「子ども・若者総合相談センター」において、様々な困難を抱える子ども・若者などの学校・社会復帰に向けた支援を行います。



在宅保育家庭を応援します!

#### 在宅保育すこやか応援事業

0~5歳児を在宅で保育する家庭に対して手当を支給し、子育てに係る経済的負担を軽減します。

子育てと仕事の両立をサポートします!

#### 放課後児童クラブ管理運営事業

保護者が仕事などで日中家庭にいない児童に対し、適切な遊びや生活の場を提供し、児童の健全な育成を図るとともに、子育てと仕事の両立を支援します。

将来の夢や希望の実現を応援します!

#### 奨学金返還助成事業

誰もが教育の機会を平等に受けられるよう、進学に伴う経済的負担を軽減し、次世代を担う人材の育成・確保や移住・定住の促進につなげていきます。

## 花火産業推進プロジェクト

### “花火産業”的さらなる発展を目指して

全国花火競技大会「大曲の花火」が持つブランド力を最大限に活用し、観光、商業、農業、文化、教育などの様々な分野と連携して新たな内発型産業の創出を目指す「花火産業構想」を平成26年に策定しています。これまで「花火伝統文化継承資料館」「はなび・アム」の開館」「花火製造拠点となる「株式会社花火創造企業」の設立」「第16回国際花火シンポジウム」の開催など、様々な取組を展開してきました。

令和6年度からは、これまで推進してきた取組の成果を礎に、新たに策定した「花火産業推進プロジェクト」のもと、市内の関係団体と連携強化を図りながら、「花火産業」のさらなる発展に向けて取組を進めていきます。



- 国際花火競技大会出品事業  
(モントリオール国際花火大会出場関連)
- 花火ふるさと教育事業
- はなび・アムを核としたにぎわい創出事業 など



## だいせんSEDプロジェクト

### 地域経済産業の持続的発展・成長に向けて

企業の経営基盤の強化や、社員教育、労働環境の整備に対する支援などを通じ、産業の持続的な発展に向けた基盤づくりと、働きやすく魅力ある職場づくりを促進します。

また、きめ細かい起業支援のさらなる充実にも取り組み、女性や若い世代が個々の能力を発揮し、いきいきと活躍できる環境づくりを推進することで、移住・定住の促進や少子高齢化の抑制、地域活力の向上などにつなげていきます。



※SED … Sustainable Economic Development  
(経済の持続的発展)